

授業科目名	情報処理Ⅲ	担当形態	講義		
		開講学期	秋学期		
担当教員	中西 宏文	単位	2	年次	1

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

本講義では、情報処理Ⅰで養った基本的な情報活用能力を元により高度な情報活用能力や情報発信能力の育成を目標とする。具体的には、高度な表計算ソフトの活用、データベース作成統計処理などについて習得する。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

情報処理Ⅰで学習したパソコンの基本操作が習得できている必要がある。自分自身で体験しながら習得する必要があるため、授業にはすべて出席することが必要となり、途中連続して欠席すると履修が困難となる。1回でも欠席した場合は、友人等に内容を確認し確実に習得しておくこと。

教室では、飲食禁止とし、授業時間中は携帯端末の使用を禁止する。演習時以外の私語は厳禁とする。一度注意を受けても、これらが守られない場合は以後授業の受講を認めず単位を認定しない。授業の運用上、受講生の上限を30名とする。

10分以上の遅刻は0.5回、30分以上の遅刻は1回の欠席として扱う。

### ＝授業の概要＝

授業では、パソコンを利用していく中でワープロソフトに次いで利用頻度の多い表計算ソフトについて、マイクロソフトエクセルを使い、基本操作から各種関数の利用・グラフなどについて詳細に学習するとともに、エクセルによる各種処理を自動化するためのマクロについても学習する。

### ＝授業計画＝

- 1回 基本的な情報活用能力の復習
  - 2回 表計算ソフトの基本概念の復習—相対参照と絶対参照
  - 3回 Excel 応用(1)—労働時間と日給
  - 4回 Excel 応用(2)—年齢別人口構成比のグラフ作成
  - 5回 Excel 応用(3)—アルバイト代の計算(Hour, Minute, if 関数)
  - 6回 Excel 応用(4)—長距離走の結果処理(vlookup)
  - 7回 統計処理(1)—度数分布表とグラフ、基本統計量(平均値・中央値・最頻値・分散・標準偏差)
  - 8回 統計処理(2)—相関係数・回帰分析・予測
  - 9回 CSE 配列数式の利用基礎
  - 10回 CSE 配列数式の利用応用
  - 11回 ワードと Excel の相互利用
  - 12回 マクロの記録
  - 13回 マクロの編集と VBA
  - 14回 各種関数を利用した統計処理の演習
  - 15回 まとめの演習
- 定期試験

### ＝テキスト(必携)＝

書籍名：コンピュータリテラシー ワード・エクセル実践活用法

著者名：中西宏文 著

出版社：学術図書出版

### ＝参考書・参考資料(必携)＝

特に指定しない

## **=成績評価の方法と評価の基準=**

表計算ソフトを使用した各種処理能力などについて、授業中に適宜、演習課題を課し評価する。最低限、教科書やWeb ページを参考にしながら操作できる程度の理解を必要とする。

授業への遅刻や授業中の私語・居眠り等は、減点の対象とする。

## **=その他=**